

2014年3月20～23日；宮城県東松島市における交流ボランティア

～四日市看護医療大学災害支援の会主催 第21回派遣～

震災から3年がたちました。今回は、四日市看護医療大学災害支援の会が中心となり、看護学生として東北支援や地域防災において何ができるのかを考えるワークショップと支援活動を実施しました。

<活動の概要>

■被災地視察

壊滅的被害を受け集団移転が決まっている東松島市の野蒜地区、大曲浜を視察し、被災された方より当時のことについてお話を聴かせていただきます。

■災害勉強会、交流会

宮城で被災地支援の活動をしている学生と交流を持ち、われわれの今後の活動のあり方について考えます。

午前、宮城県の看護学校の教員、看護師、保健師の方々に講話を行っていただきます。午後からは学生間で災害やボランティアに対する思い・考えを伝え合うことで、今私たちにできることは何かについて考えるディスカッションを企画しています。

■仮設住宅交流ボランティア

午前、仮設住宅を全戸別訪問し見守巡回、交流イベントの周知を行います。午後から足浴や血圧測定、茶話会(三重県のお茶とお菓子)により交流を行います。

<参加者>

■学生；四日市看護医療大学21名、四日市大学4名、三重大学4名、三重県立看護大学1名、愛知県立総合看護専門学校1名、宮城大学8名

■教員；四日市看護医療大学4名、四日市大学1名、宮城大学2名

<参加費>

参加費：13,000円（スタッフは6,000円）

- ・四日市大学－宮城県の往復バス・現地での移動
- ・食事5食；21日の昼食・夕食、22日の朝食・昼食、23日朝食（その他は各自負担）
- ・入浴2回分
- ・ボランティア活動保険・旅行保険

<日程>

3月20日（木）：18：00 四日市看護医療大学40B教室集合、事前打ち合わせ

⇒19：00 出発（四日市看護医療大学バス停）

3月21日（金）：早朝に東松島市到着 ⇒ 被災地視察（石巻市大川小学校・東松島市大曲浜）

⇒ 10：30 から災害勉強会、交流会（東松島市大曲市民センター）

・10：30～挨拶、講話(石巻赤十字病院看護師、石巻赤十字看護専門学校教員、東松島市社会福祉協議会地域包括支援センター職員)

・12：30～お昼休憩、呉の太鼓演奏

・14：00～学生間のディスカッション（東海地方看護学生&宮城県看護学生）

・18：00 終了、⇒ みちのくで夕食・仮設住宅集会所に宿泊

3月22日（土）：7：00 起床、朝食 ⇒ 8：30～活動場所に移動

（矢本運動公園、鷹来の森、室浜地区センター、宮戸小学校）

⇒ 午前；仮設住宅戸別見守り・告知訪問

⇒ 午後；交流会(足浴&お茶会)

⇒ 17：00 現地出発 ⇒ 仙台で入浴 ⇒ 帰路

3月23日（日）：朝7時頃に四日市看護医療大学帰着